



秋田県立図書館広報

2007 1月号

# 県立図書館だより



## 新年あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いたします



昨年はたくさんの皆様に当館及び分館である「あきた文学資料館」をご利用いただきましてありがとうございました。

本年も皆さんに親しまれる図書館を目指して、職員一同努力いたしてまいりますので御利用くださいますよう、よろしくお願いたします。



### 平成18年度 ビジネス支援セミナーの開催

講演「私がめざした地域おこしの原点」  
～起爆剤にドラゴン作戦～



写真提供：三種町

講師 元旧八竜町 町長  
三浦 卓 氏

日時/平成19年1月27日(土) 午後1時30分~4時  
内容/ 講演(90分) ビジネス支援資料紹介(60分)  
会場/県立図書館 3階多目的ホール  
定員/先着50名 **入場無料**  
問い合わせ・申込先/県立図書館 奉仕班 地域活性化担当  
電話、FAX、閲覧室カウンターで申込みください。  
TEL 018 - 866 - 8400 FAX 018 - 866 - 6200

### 今月の閲覧室小展示

毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。

#### えほんのへやミニ展示

『うたと詩のえほん』

期間/1月4日(木)~2月25日(日)



#### 郷土資料展示

『秋田の小正月』ポスター展も開催(1月4日(木)~2月17日(土))

期間/1月4日(木)~2月28日(水)

#### テーマ展示

『頭の柔軟体操』~今年こそ脳力アップ~

期間/1月4日(木)~2月4日(日)

### レファレンスシンボルマークの紹介



県立図書館では、12月2日から左のようなマークを閲覧室内及びカウンター付近に掲示しています。お気づきになりましたか？

このマークは、図書館のサービスの1つであるレファレンスサービス(調べもののお手伝い)を県民の皆様にご存知いただき、利用していただくために秋田県図書館協会が作成しました。今後、県内各図書館でもPRを開始していきます。

Q.レファレンスサービスってなに?  
A.みなさまの調べもののお手伝いをするサービスです。図書館の資料などを使って必要な情報をご案内したり、身近な疑問や質問に回答いたします。

Q.どんな質問でも調べてもらえるの?  
A.例えばこのような質問がありますが・・・  
・町の人口が知りたい  
・秋田から東京までの直線距離は?  
・という漢字の読みが知りたい 等々

次のような質問・相談にはお答えできません  
・法律判断、身の上等の相談  
・古書や美術品の鑑定  
・宿題や懸賞問題の解答  
・古文書や外国語の解読、翻訳 等

何か調べものがあるとき、身近な疑問、質問があるときは図書館へお越しください。そしてこのシンボルマークのあるレファレンスカウンターの職員に声をお掛けください。直接来館できないときは電話やFAX、メール、郵便などでお受けいたします。

書名『使わなくなった日本語【時代劇篇】』 平土大学/編 経済界/発行 2004.8 紹介者 千田 育 栄

「剣客」「びた一文」「合点が行く」…。どれも、皆様一度は時代劇などで耳にした事のある言葉だと思われ  
ます。しかし、今ではほとんど使われることのないものばかりであるということにお気づきでしょうか。本書は、  
時代劇を通じて知られている言葉を中心にまとめられています。中には、現在も使われてはいても、その意味  
が違っていたり、使い方が変わったりしている言葉も数多く収録されておりま。また、聞いたことはあっても、  
文字にするととなると、一筋縄ではいかないような言葉もたくさん出てきます。例えば、「お侠(きゃん)」「手  
薬煉(てぐすね)を引く」「鯨背(いなせ)」など、実際に書くとなると難しいと感じてしまうのは私だけでは  
ないはず…(多分)。興味深い内容なので、この一冊でかなり楽しめます。それでは最後に問題を一。「籠棒  
め！」さて、皆様は正しく読むことができますか？答えは本書で！

書名『沢田マンション物語』 古庄弘枝/著 情報センター出版局/発行 2002.9 紹介者 池田 春 美

JR高知駅から車で10分ほどのところにある地下1階・地上5階建て・85室の巨大なマンション。  
1927年生まれの沢田嘉農さんと19歳年下の裕江さん夫婦が二人で作りあげた沢田マンションは、型破  
りで独創性に満ちた存在感ゆえテレビやインターネットで取り上げられることもあるため、既にご存知の方も  
いらっしゃるかもしれません。

大工への弟子入りや建築の学校に通ったという経験もない二人が、頭の中の設計図をもとに基礎工事も鉄骨  
組みも大工仕事も配管もすべて自力で行ったという驚くべき事実が自然に納得できてしまうほど、沢田夫妻の  
生き方はエネルギーに満ちあふれています。夫妻と彼らを取り巻く人々との人間味ある温かいエピソードも見  
ものです。

惜しくもこの本が発行された翌年に嘉農さんは病気のため他界されたそうですが、その理念は三人の娘さん  
夫婦に受け継がれ、沢田マンションは今も増改築を続けているとか。「人間として生まれた以上、どれだけの  
ことができるのか試してみたい」という嘉農さんの言葉が読後も心に残る一冊です。

## けいじばん

特別整理期間中の作業が無事終了しました。

11月27日(月)～12月1日(金)までの特別整理期間に  
職員による閲覧室の清掃作業や書架整理、蔵書点検などを行いま  
した。皆様にはご不便をおかけいたしました。これからもよろ  
しくお願いたします。



特別整理期間中の作業風景

## 1月の開館日カレンダー

■ は休館日です。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 開 館 時 間

平 日

午前10時～午後7時(11月～3月)

午前10時～午後8時(4月～10月)

土日、祝日

午前10時～午後6時

休館日の図書の返却は、入口のブックポストへお願いいたします。

編 集 発 行 秋 田 県 立 図 書 館 〒010-0952 秋田市山王新町14-31

TEL 018-866-8400

発 行 日 平成19年1月4日

自動応答電話

TEL 018-866-8406

U R L パソコン用 <http://www.apl.pref.akita.jp>

FAX 018-866-6200

携帯電話用 <http://ill.apl.pref.akita.jp/m/>

E-mail

図書館全般について [apl@apl.pref.akita.jp](mailto:apl@apl.pref.akita.jp)

資料の問い合わせ [houshi@apl.pref.akita.jp](mailto:houshi@apl.pref.akita.jp)

